

技術研修会など決める 道設備設計事務所協会



北海道設備設計事務所協会は23日、ポールスタ―札幌で2018年度定時社員総会を開き、建築設備に関わる研修会の実施などを盛り込んだ18年度事業計画を決めた。

18年度事業計画を決めた

種市由夫会長は「技術者確保などの課題がある中、働き方改革法案が成立するとさらに大変な影響がある」と昨今の業界を取り巻く環境について話し「協会として技術者確保・次世代継承のためにポスターを作製した。設備設計業務の内容について伝えていきたい。今後活動に協力を」と呼



び掛けた。議事では事業計画について審議し、建築設備に関する研修会のほか、関係官公庁との意見交換会

実施などを決めた。また、17年度末で正会員33社、賛助会員133社、協賛会員29社の計195社になったことを報告した。